

インドネシア小水力発電支援ファンド3号～6号 の運用状況につきまして

投資家のみなさまにおかれましては、平素より格別のお引立てを賜り誠にありがとうございます。

掲題のファンドシリーズ各号（以下、「本ファンドシリーズ」といいます。）につきまして、運用状況をご報告申し上げます。

【本レポートの要旨】

- ・ これまでに、エストニアグループ会社（後述）は、Anantaka 社（後述）のやむを得ない事情を考慮して、同社の返済猶予を計4回受け入れました。
- ・ 現在、Anantaka 社は、同社が保有する小水力発電プロジェクト株式配当金の他に、その他の水力発電プロジェクト持分の売却等で返済資金の確保を模索しています。
- ・ Anantaka 社が保有するその他水力発電プロジェクト持分の売却先を日系の再生エネルギー事業者とする交渉が進んでいますが、足元の円安傾向を背景に、売却時期が繰延べられました。
- ・ Anantaka 社は、プロジェクト持分の売却と並行して、他の方法での返済資金確保に努めています。

1.出資対象事業の概況

ご投資いただいた出資金の用途

(1) 本ファンドにおいてクラウドクレジット・ファンディング合同会社（以下「本営業者」といいます。）は、お客様にご投資いただいた出資金をクラウドクレジット株式会社のエストニア子会社（Crowdcredit Estonia OÜ。以下「エストニアグループ会社」といいます。）に対して貸付けを行いました。

(2) エストニアグループ会社はこの借入金を原資として、「案件①」としてインドネシア共和国を拠点に事業を展開する小水力発電事業者である PT Anantaka Hidro Indonesia（以下「Anantaka 社」といいます）へ貸付を行いました。さらに3号～5号では「案件①」に加え「案件②」として、Mintos という P2P レンディングプラットフォームを介してジョージア（旧グルジア共和国）の会社 Creamfinance Georgia LLC の取り扱う個人向けローン債権の購入を行いました。

案件①の資金需要者の現状

(1) Anantaka 社の事業の概況

- ・ Anantaka 社は複数の小水力発電プロジェクトに携わっています。そのうちの 하나가、エストニアグループ会社からの借入金を活用した、インドネシア共和国北スマトラ州にあるトバ湖近郊のフンバン・ハスンドゥタン県における 10MW の小水力発電所（以下「本プロジェクト」といいます。）です。Anantaka 社は、本プロジェクトの推進企業である CME 社の株式を保有し、CME 社を通じて発電所の運営を手掛けています。
- ・ CME 社は本プロジェクトの発電した電力をインドネシア国有電力会社（PLN）に売却して収入を得ます。そして Anantaka 社は CME 社の株式配当を受取ります。
- ・ 本プロジェクトは、工期の遅れによる運転開始の遅延や、大雨による地滑り等の自然災害など、想定外の事態を経験しましたが、2022 年においては順調に稼働しており、概ね当初予定通りの発電量を達成しています。2022 年 6 月には、本営業者グループ会社社員が Anantaka 社オフィスおよび小水力発電所を訪問し、運営状況の確認を行いました。
- ・ 本プロジェクトの発電量は年間約 61 ギガワット時（約 1 万 1 千世帯の年間消費電力量）相当で、PLN を通じてトバ湖近くの Dolok Sanggul 区を中心とする約 6 万 9 千世帯に電力を供給します。なお、本プロジェクトが再生可能エネルギーである小水力発電を採用したことで、スマトラ島で消費される電力の平均的な発電方法に比べて、年間約 42,000 トン（約 3 百万本の杉の木が 1 年間で吸収する二酸化炭素量に相当）の CO2 削減を実現しました。

(2) Anantaka 社の財務状況

- ・ Anantaka 社は、本プロジェクトの運営が順調であることから、概ね計画通りの売上を獲得しています。一方で、大雨による地滑り等の自然災害からの復旧工事のために想定外の支出が発生していますが、最終利益は黒字で推移しています。一定の収益性ととともに、流動性や健全性にも特段の懸念は生じおりません。

今後の返済見通し

- ・ Anantaka 社は、2022 年 6 月期において、同社が保有する CME 社株式の 2021 年度配当金をもとに、エストニアグループ会社に対して債務を一部返済しました。その後、Anantaka 社は、本営業者グループ会社社員と対面で協議した結果を受けて、CME 社以外の水力発電プロジェクト持分の売却等による返済資金の確保を模索しています。

- ・ Anantaka 社が保有する CME 社以外の水力発電プロジェクト持分の売却については、日系の再生エネルギー事業者を売却先とする交渉が進んでいます。当初は 2022 年中の売却を目指していましたが、足元の円安傾向を背景に日系事業者が購入時期を再考し、具体的な売却時期が未定となりました。そのため、エストニアグループ会社は Anantaka 社に対し、上記プロジェクト持分の売却と並行して返済資金を確保する代替手段を講じるよう要請しました。それを受けて Anantaka 社は、地場金融機関からの新たな資金調達や、同社代表者による資金確保などを検討しています。

今後、本ファンドシリーズの回収見通しに動きがみられましたら、本営業者がすみやかにご報告を申し上げます。

投資家のみなさまにおかれましては、今後とも当社ファンドをご愛顧いただければ幸いです。

会社概要（クラウドクレジット・ファンディング合同会社）

【代表社員】 クラウドクレジット株式会社

【設立年月】 2016 年 3 月

【資本金】 1,000,000 円

【住所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目 8 番 1 号